

自宅にあるものでできる水害対策

目次

- ① ゴミ袋で簡易水のうを作る
- ② 板とブルーシートによる簡易止水板
(水のう、脚立、ブロック、ポリタンク)
- ③ 吸水性土のうによる簡易止水
- ④ 敷地内の排水
- ⑤ 浸水直前の対策～家財の被害を防ぐ～
- ⑥ 高い場所に棚を作っておく
- ⑦ 畳を高い場所へ移動する
- ⑧ 浸水直前の対策～下水の逆流を防ぐ～
- ⑨ 自家用車の事前避難
- ⑩ 水槽の被害を防ぐ
- ⑪ 浄化槽への土砂や泥の侵入を防ぐ
- ⑫ 排水路の確保

① ゴミ袋で簡易水のうを作る

水害対策として、土のうの代わりに家庭にあるもので作ることができ
る水のうの作り方です。

必要なものは買い物袋やごみ袋、水。



(1) 買い物袋やごみ袋等を二枚
以上重ねます。

半分程度水を入れます。



(2) 内側と外側の袋をそれぞれ
しっかりと結びます。



② 板とブルーシートによる簡易止水板



- (1) 扉の横幅全体を覆うサイズの板を用意する。
高さはひざ下程度を目安として、必要に応じて高くする。



板を抑えるための様々な物



水のう



ブロック



ポリタンク



脚立



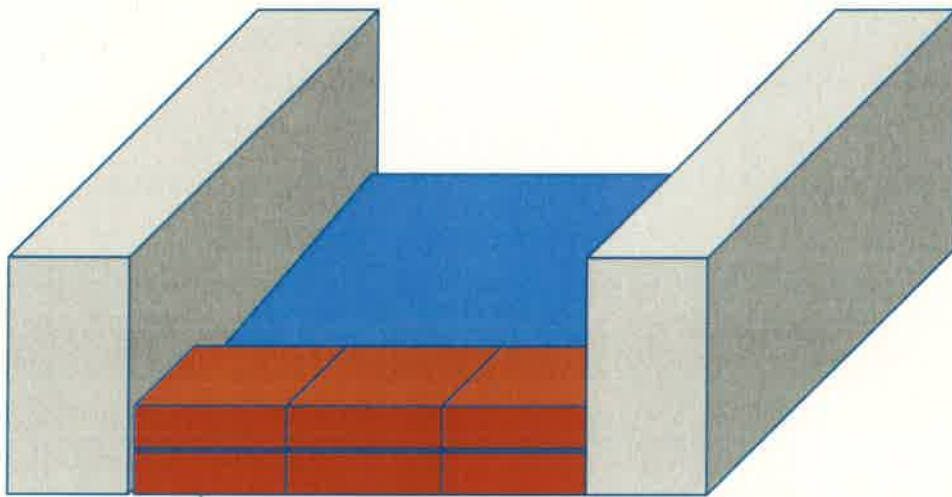
(2)ブルーシートで板ごとくるんで完成



※ 見本に使用したブルーシートは縦260cm×横260cmのもの。

③ 吸水性土のうによる簡易止水

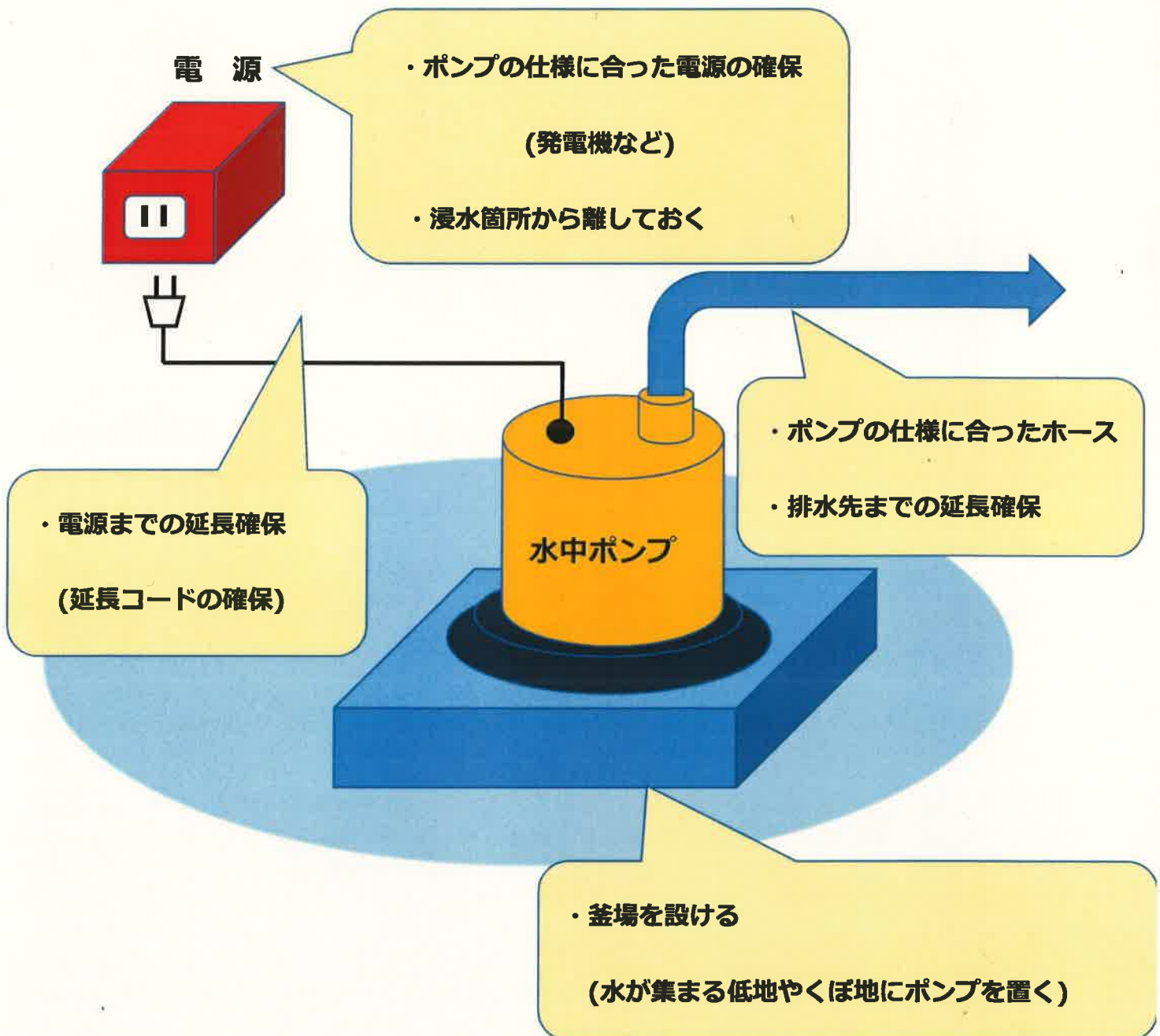
市販の吸水性土のうを使用した止水の一例です。吸水性土のうは、吸水前は軽量・コンパクトで収納しやすく、吸水時には数分で膨張します。



吸水前の土のう

④ 敷地内の排水

敷地内に侵入した雨水を排除するためには、水中ポンプの利用が効果的です。水中ポンプはホームセンター等で入手できます。ポンプの能力や種類については、販売店や製造者へご確認ください。



⑤ 浸水直前の対策～家財の被害を防ぐ～

水害による家財被害を軽減するため、重要書類、高価な家電製品、数日分の衣類などを2階などへ上げる。又は高い位置に移動する。



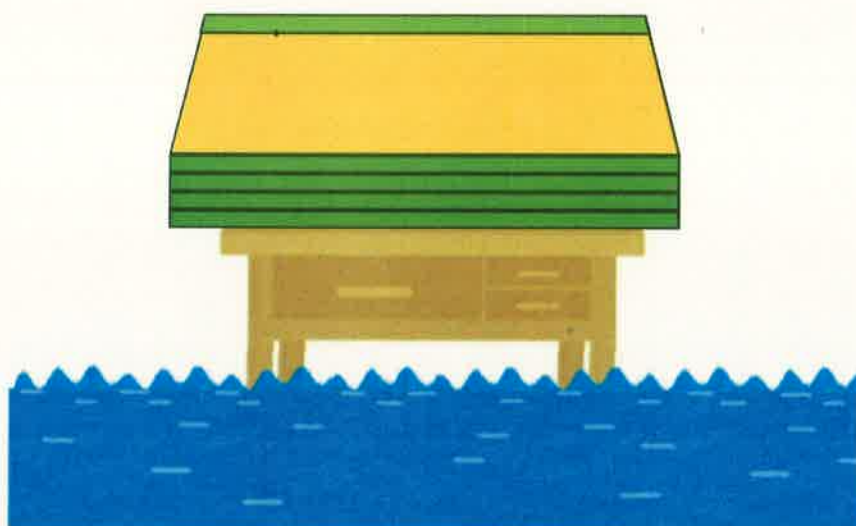
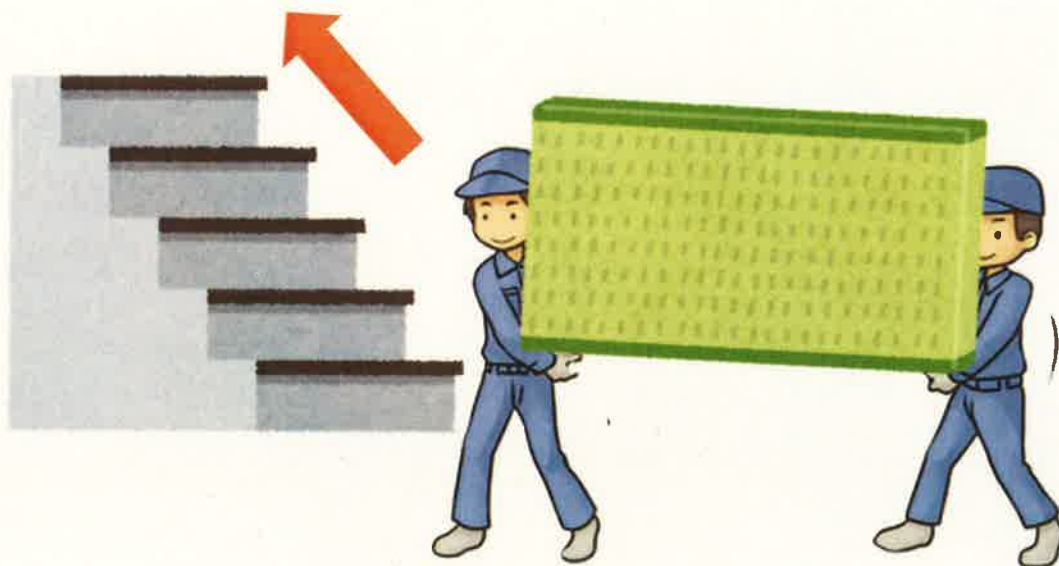
⑥ 高い場所に棚を作っておく

家の様々な場所に厚板で丈夫な棚を作っておくと、いざという時に大事なものの浸水を防ぐことができます。



⑦ 畳を高い場所へ移動する

食卓の上に載せるだけでも、畳への浸水を防げる場合があります。



⑧ 浸水直前の対策～下水の逆流を防ぐ～

急激な水位の増加により下水が逆流し、トイレや風呂場、洗濯機の排水口などから水が噴き出ることがあります。

ビニール袋に水を入れた水のうを置くと、逆流を抑える効果があります。



洗面台



流し台



洗濯機パン



風呂場の排水



浴槽内の排水



トイレの便器

⑨ 自家用車の事前避難

自家用車を早めに安全な場所へ移動する。

移動が困難な場合は、エンジン部分の浸水を防ぐ。



自走式駐車場等



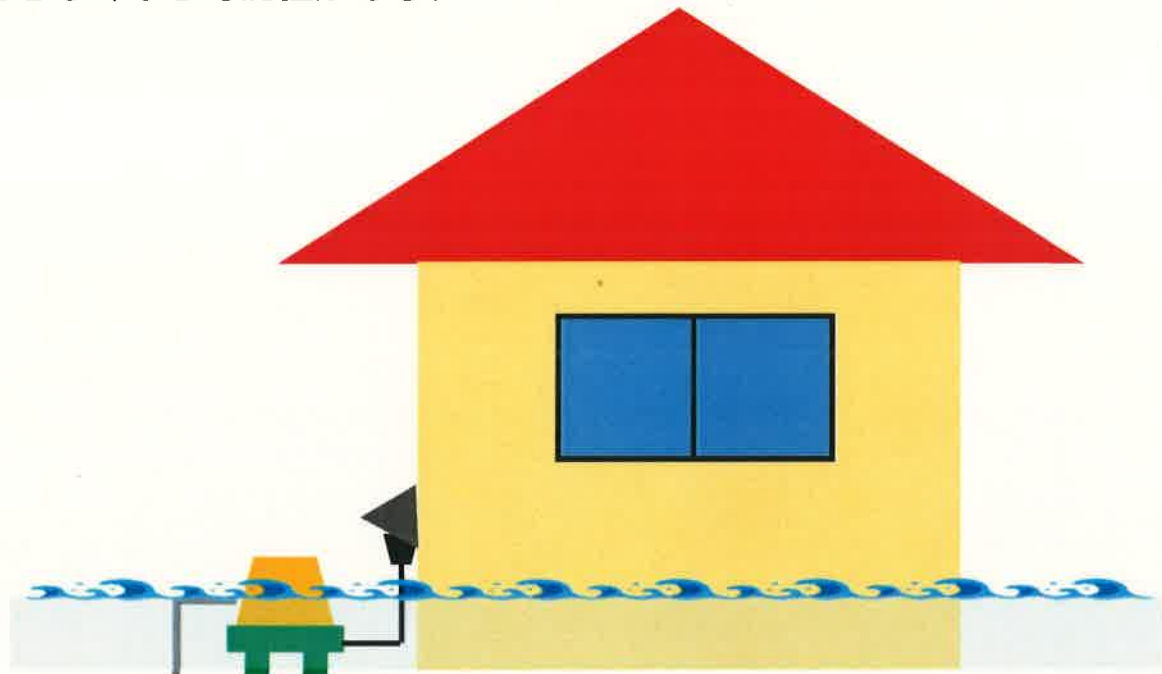
⑩ 浄化水槽の被害を防ぐ

浄化水槽の被害を低減するため、浄化水槽ポンプの電源を切る。

(あらかじめ浄化水槽ポンプを高い場所に設置することが望ましい。)

浄化水槽ポンプが壊れると、浄化水槽に酸素を供給できなくなり、微生物が汚れを分解する機能が失われ、汚水のまま河川等に放流されてしまう恐れがあります。

浄化水槽に土砂や泥が入ると、浄化水槽の管を塞いだりして、浄化機能が低下し汚水のまま河川に放流してしまう恐れがあるため、ふたがしっかりと閉まっているか確認する。土砂が入ると管が詰まって家から排水できなくなる可能性がある。



⑪ 浄化槽への土砂や泥の侵入を防ぐ

土砂が入ると管が詰まって家から排出できなくなる。

浄化槽のふたがしっかり閉まっているか確認する。



⑫ 排水路の確保

落ち葉やごみで雨水マスや排水路が塞がれていると、敷地や道路が冠水する恐れがあるため、予め点検や清掃を行う。



落ち葉やごみを取り除き、排水路を確保する。



事前の対策が大切です。

ちょっとしたことで、財産を守ることが
できます。是非とも参考にして下さい。